



## アレクサンドル・クニャーゼフ Alexander Kniazev, Cello

力強く抒情的な演奏で定評のある現代ロシアを代表するチェリスト、そしてロストロポーヴィチの真の後継者とも謳われるアレクサンドル・クニャーゼフは、モスクワ音楽院でチェロとオルガンを学ぶ。

これまでスヴェトラノフ、テミルカーノフ、ロストロポーヴィチ、フェドセーエフ、ヴェデルニコフ、M. ショスタコーヴィチ、バシュメット、N. ヤルヴィ、マズア、ロシア国立響、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキー響、ウィーン響、ロイヤル・フィル、バイエルン放送響、フランス国立管、エーテポリ響等にソリストとして招かれている。

室内楽にも情熱を注ぎ、キーシン、レーピン、ルガンスキー、ベレゾフスキーらと共演。キーシンの40歳を祝うフェスティバルにも招かれ、サントリーホールでも共演。ロシア各地はもちろん、アムステルダム、ニューヨークのリンカーンセンター、ウィーンのムジークフェライン、パリのサル・プレイエルなどでも演奏している。ザルツブルク、ルガーノのアルゲリッチ・フェスティバル、モスクワの「12月の夜」、音楽祭ラ・フォル・ジュルネをはじめ数々の音楽祭から招かれている。

録音でも二度のバッハの無伴奏チェロ組曲全曲、スヴェトラノフ指揮ロシア国立響とのプロッホ「シェロモ」、フェドセーエフ指揮チャイコフスキー響とのドヴォルザーク、チャイコフスキー・アルバム、ショスタコーヴィチ&ラフマニノフのトリオをはじめ数々のCDがグラモフォン、ディアパソン・ドール、エコー等の賞を受賞など絶賛されている。

華々しい活躍の最中の急転直下、手の筋力が低下する難病との5年間の闘い・・・  
交通事故で愛妻と楽器を失い、自身も再起不能かという重傷を負いながら復活



レーベル: Warner Classics  
録音: 2003年9月 パリにおける  
デジタル録音 (3枚組)

恐るべき表現レンジの広大さ・・・  
演奏時間170分という信じがたい遅さ・・・  
クニャーゼフの類例無きバッハ無伴奏全曲

モスクワ音楽院時代の難病克服や1994年に遭った交通事故の後遺症からの再起などによって“奇跡のチェリスト”と呼ばれるクニャーゼフが、二度目となるバッハの無伴奏チェロ組曲(全曲)を録音した。温かで柔らかな音色によるとても人間くさい無伴奏チェロ組曲だ。さっそうとしたテンポを採るかと思えば、サラバンドなどはじっくりと歌い込む(第6番のアルマンドの遅さ! ※16分もかけている)。一つの曲のなかでのテンポの変化も自在。演奏スタイル云々というよりも、クニャーゼフは自分の信じるバッハ像を描き続けている。(山田治生/C Dジャーナル・レビュー 2004年5月)

## J.S. バッハ: 無伴奏チェロ組曲 (全6曲) BWV 1007~1012

第1番/第2番

— 休憩 —

第3番/第4番

— 休憩 —

第5番/第6番

※途中休憩2回含む、終演予定20:30頃

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

### 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

### 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL: 052 (265) 1715 FAX: 052 (265) 1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間: 10:00~16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)